

大阪市廃止・分割ノ一

歯科医師アピールを公表

賛同者募り行動提起

アピール要旨

大阪市の廃止・分割（通称「大阪都構想」）を問う住民投票へ向けて「反対」の世論を広げようと、小澤理事長ほか18人の理事・役員は連名で「歯科医師アピール」を10日、発表した。同構想で医療・福祉サービスが低下することから、「地域医療に携わる歯科医師として見過ごすことのできない」として、アピール（今号同封）への賛同者を募っている。アピールの要旨は次の通り。

「大阪都構想」の目的は、大阪府を特別区に変えて財源の一部を大阪府に移し、カシノ誘致、高速道路整備等を進めることにあります。大阪経済は活性化せず、市民の暮らしもよくなりません。

大阪維新の会は大阪市の廃止によって二重行政がなくなると説明していましたが、しかし、二重行政は虚構であること、「大阪都構想」の実施で財政的にはマイナスになることが明らかになりました。その一方で、市民向けサービスの削減が計画されています。

国民健康保険、介護保険などは一部事務組合が担当するため、市民の負担が増えることが懸念されています。また、橋下市長と大阪維新の会による、その進め方も強引であった。昨年1月、法定協議会で区割り案絞り込みの提案が否決されると、橋下市長

見が反映されにくくなり、市民と行政の距離は遠くなります。多くの市民が「協定書」について十分理解できていない状態で住民投票を迎えることとなります。元の大阪市に戻したいと思っても、現行制度では戻す方法がありません。「大阪都構想」は大阪市民だけの問題ではありません。大阪市の周辺市も順次、特別区に編入し

たいとしています。また、膠着状態にあった「大阪都構想」を動かしたのには官邸筋とされ、その動機は維新の党を憲法9条改正勢力に取り込むためと言われています。大阪府、大阪市は維新新政

治の下で、住吉市民病院の廃止、救命救急センター補助金の削減、敬老パスの有料化などを行ってきました。「大阪都構想」を進めると、今まで以上の医療・福祉サービスの低下が生じます。

地域医療に直接携わる歯科医師として、このような事態を見越すことができません。今後、アピールに対する賛同者を募り、住民投票で反対する人を増やすため、様々な行動を行うものです。

臨床・学術部は、「保険診療でも作製できるリング丸かじりを可能にする総義歯」今井式すっぽんデンチャー」をテーマに生涯研修講座を3月15日、M&Dホールで開いた。今井守夫氏（千葉県東金市開業）が講師を務め、会場いっぱい約178人が参加した。

同氏は、患者の症例を動画で紹介しながら、試適時の歯列排列、リングライズド・オクリュージョンを付与すること、咬座印象は開口印象を行うこと、咬合高径の目安として上下口唇部の面積がほぼ同じである様に、水平的顎位の決定にはゴシックアーチを行うことなどを説明した。

まとめとして、「すっぽんデンチャーは教科書的な総義歯作製法を基本として、少し手を加えるだけで作られている」と強調。吸着を得るための要素として「必要な部位を明確に覆い、選択的加圧印象となるように調整した総義歯を用いた咬座印象が挙げられる」と、吸着に加え安定性を得るには、総義歯には片側性及び両側性平衡咬合を得ていることを求めた。

3月度生涯研修講座



178人が参加した「すっぽんデンチャー」の講習会＝3月15日、M&Dホール

すっぽんデンチャーに178人

臨床・学術部は、「保険診療でも作製できるリング丸かじりを可能にする総義歯」今井式すっぽんデンチャー」をテーマに生涯研修講座を3月15日、M&Dホールで開いた。今井守夫氏（千葉県東金市開業）が講師を務め、会場いっぱい約178人が参加した。

同氏は、患者の症例を動画で紹介しながら、試適時の歯列排列、リングライズド・オクリュージョンを付与すること、咬座印象は開口印象を行うこと、咬合高径の目安として上下口唇部の面積がほぼ同じである様に、水平的顎位の決定にはゴシックアーチを行うことなどを説明した。

まとめとして、「すっぽんデンチャーは教科書的な総義歯作製法を基本として、少し手を加えるだけで作られている」と強調。吸着を得るための要素として「必要な部位を明確に覆い、選択的加圧印象となるように調整した総義歯を用いた咬座印象が挙げられる」と、吸着に加え安定性を得るには、総義歯には片側性及び両側性平衡咬合を得ていることを求めた。

これらを満たす、すっぽんデンチャーの下顎義歯は可及的に長い床縁になり、患者自身の動的な状態を妨げない形態であり、咬合を加味した動的な辺縁封鎖性を向上させれば、吸着の著しい顎堤でも、かなりの吸着が得られ、更にはリング丸かじりさえも可能になると話した。

格差は拡大し、私ども庶民の所得は減り、物価は上昇しているが、飽食の時代だから買い控えや節約があまり苦にならないのかも知れない。世界は激変しており石油価格の変動から生活全般への影響も大きい。激震地は遠方でもある。

護憲、原発、沖縄の問題は国政だから、それよりも狭い視点で地域の防災や教育、保育をどうするのか、国保や介護保険や公共交通機関など生活経済に論点を絞ってもその劣化を防がねばならない課題は多い。

基軸

「大阪都」構想 偽りの実態 ⑤

大阪学院大学准教授 梶哲教

大阪都構想は、内容的に難点が多いだけではない。橋下市長と大阪維新の会による、その進め方も強引であった。昨年1月、法定協議会で区割り案絞り込みの提案が否決されると、橋下市長

は辞任し、市長選を仕掛けた。再選後には、民意を得たとして、法定協議会の非維新系委員を排除し、7月、維新所属の委員だけで協定書をまとめた。維新以外の各党は、法定協議会の運営正常化を図るため、臨時府議会の招集を求めたが、松井知事に

10月、府市両議会での協定書は不承認となった。しかし、橋下市長は、その先の住民投票に持ち込めれば勝算ありと考えて、強引に手続を進めようとした。議会の承認

11月、衆院解散・総選挙実施が決まると、公明党の現職区で橋下市長と松井知事が出馬する構えを見せて公明党を揺さぶ

ら府市両議会でも承認され、住民投票の運びとなった。しかし、住民投票を絶対視することは、民主主義の下でも適切ではない。今回のように議論が

未成熟な段階での住民投票は、顧慮に値する多様な異論を全て封殺する恐れがある。制度改革の理解が広がらないまま強行されれば、無用の摩擦や混乱も避けられない。そこで、橋下市長が「民意」

として不都合が露呈したとき、住民投票は、その責任を政治家が全て住民に押しつける口実となる。構想は、一度の「お試し」で済まない。都構想に反対の場合だけでなく、都構想を理解できない以上は、反対票を投じなければならぬのである。

早くも桜は散ってしまいうので、浮かれています。余裕はない。なによりもこの地方選で次の国政選挙の動向を占う要素が大きい。マグマの動きと同様に国体の変動は上に乗っている気ぜわしい人間には感知しにくい。政治による災害は選挙で防げるはずだ。

今回の統一地方選は民意がどう生かされるかを問う重要な選挙である。消費税の影響をどう肌で感じるか一年間の体験期間もあった。

4/15

2015年第1200号

(毎月5、15、25日発行)

会敬 協 岐 幸 1-2-33 表
府 市 浪 速 区 幸 1-2-33 表
行 人 市 浪 速 区 幸 1-2-33 表
大 阪 市 浪 速 区 幸 1-2-33 表
電 話 (06) 6568-7731 (代 表)
http://osk-net.org/
定 価 年 間 10,000 円 月 1,000 円
1977 年 5 月 23 日 第 三 種 郵 便 物 認 可



異論排除し強行した維新 住民投票では「反対」票を

住民投票では「反対」票を

住民投票では「反対」票を

住民投票では「反対」票を

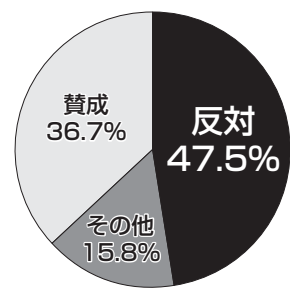
住民投票では「反対」票を

住民投票では「反対」票を

住民投票では「反対」票を

住民投票では「反対」票を

「大阪都」構想への賛否



(4月6日付「毎日新聞」世論調査)

歯界

今回の統一地方選は民意がどう生かされるかを問う重要な選挙である。消費税の影響をどう肌で感じるか一年間の体験期間もあった。

今日の数字

2003人

歯科医師国家試験の合格者数。3月18日、厚労省発表。過去30年間で最少。合格率は63.8%。